工場町家プロジェクト

モノづくりと生活が一体となった町工場の魅力

1階に工場、2階以上に住居を構えた住工一体となった大田ではよく見受けられる建築タイプ。これが、店舗と住居が一体となった「町家」と似ていることから、「工場町家」と名付けた。この工場町家とそこで営まれている暮らしながら創る生活は、「モノづくりのまち大田」の象徴ともいえ、これからの大田を考える上で、重要な地域資源である。その魅力を多くの人に知ってもらい、モノづくりのまちの誇りを引き出すことを目指した。

大田クリエイティブタウン研究会
http://www.comp.tmu.ac.jp/ssm/mono/top.html

工場＋住宅＝「工場町家」

一階で作業が営まれつつ、その上に暮らしが息づく「工場町家」、これは大田の重要な資源である。私達は、目視による工場町家悉皆調査と、工場長らに対するヒアリング調査を行った。それによって、モノづくりの文化や生活環境を知り、まちの魅力、工場の魅力を見つけていくことに努めた。

▲フィールド調査の様子

▲ヒアリング調査の様子

工場町家ならではの１０の特徴

まち歩きや工場調査を通して、工場町家の多くに共通してみられる 10 の建築的特性を抽出し、その概要を下記のとおり整理した。

工場ならではの大きな入口。大規模の作業機械や製品等の搬入に対応している。

大開口と同じく、大型の機械に対応して天井高が４～６m 程もうけてある。

工場にある多数の機械を運転させるための大容量の電源が設置されている。

倉庫の様にがらんとした、どんな活動も許容できるような空間を有している。

２階に荷物を搬入するなどの利用の為に、クレーンが外壁に設置されている。

工場部の屋上に住宅や倉庫、植栽などを設置して屋上空間を有効利用している。

工場部の屋上や外壁に、住居や事務所、倉庫などを増築している。

工場での技術を用いて、重装的な外観をつくりあげている。

切り妻屋根や一般的な階高などで、工場よりも住宅の雰囲気を強くもっている。

地上から住戸へのアクセスが工場入口と別で、外階段が設けてある。

１０の特徴アイコン。青い箇所の特徴を有している。

特徴的な箇所とその説明。

特色のある 11 物件の紹介

工場町家ならではの特徴を持つものの中でも、

- 工場の技術活かして建てられたもの
- 目を引くデザインのもの
- 一見すると工場とは思えないもの

という特色のあるものを 11 物件ピックアップし、その特色と魅力を説明するパネルを作成した。その際、上記の 10 の特徴のアイコンを掲載することで、各工場の持つ特徴が一目で分かるようにした。

大田クリエイティブタウン研究会
http://www.comp.tmu.ac.jp/ssm/mono/top.html

工場町家 No. 01

二段クレーン工場町家

搬出入のためのクレーンが２つも取り付けられている工場町家

クレーン
大型の機械や材料、製品を搬出入するために設置されたクレーン。２段目は住宅部のベランダに設置されている。

大開口
２階の開口は段違いの引き戸となっており、全部開くと、１階のシャッターよりも幅広い開口となる。

搬出入のためのクレーンが２機しかも段違いで設置されているのは、かなり珍しい。またピンクや黄色といった外壁がかわいらしい物件である。

工場町家 No. 02

武装工場町家

工場という特性を活かした増築を重ねた重々しい工場町家

矢倉
増築によって作られたと思われる矢倉のような空間。工場部の天井高が５ｍ程ある為、ここからの眺めはいいだろう。

変圧器
工場で使うための変圧器を屋上部分の住宅の隣に乗せている。この工場町家の重々しさを増長させる一因となっている。

大開口
大きな機会や製品の出し入れがしやすい大開口。工場での技術を使って作られたと思われ、工場の顔となっている。

鉄板を使った厳めしい出入口や、増築に増築を重ねた屋上など、ロボットのような印象を受ける物件。こんな増改築が出来るのも工場町家ならでは。

工場町家 No. 03

ツリーハウス工場町家

ツリーハウスのように飛び出した増築部を持つ工場町家

空中のハコ
増築によってつくられた空中に浮いた事務所。増築の中でもこのように飛びだしているものは珍しいと言える。

居住部入口
工場と一体として作られている居住部。地上と事務所とをつなぐエメラルドグリーンの階段がアクセントとなっている。

工場部
約６ｍの天井高と、打って変わって控えめなＴ場入口。操業時以外は隣の鉄板を移動し、戸締まりをしていると思われる。

鉄骨によって支えられた空中のハコはまるで木の上に作られたツリーハウスのよう。大人の遊び心をくすぐる物件である。

工場町家 No. 04

デザイナーズ工場町家

工場らしい素材を使いつつ、かっこ良く仕上げた工場町家

居住部
プライバシーを考慮してか、工場部より一歩下がっている。テラスや大開口を設け気持ちよさそうな空間となっている。

素材
グレーチングや鉄、アルミ、メタル系などの工場ならではと言える素材をふんだんに使用している。

色
モノトーンに統一されていて、素材を活かしながらも、工場町家のイメージを覆す様な格好良さを生み出している。

一般的な工場町家の格好良さとはまた違った格好良さをもち、まるでデザイナーズマンションかとも錯覚させる物件。素材が工場っぽさのニクい演出をしている。

工場町家 No. 05

テクノ階段工場町家

テクノっぽく仕上げられた階段がアクセントになっている工場町家

階段
幅や太さを巧みに変化させながら、洗練された手すりをデザインしている。また踊り場の植栽も潤いを与えている。

階段下
階段下の空間は、工場の延長空間として、日差しを浴びながら、大きな音のでない簡易的な作業等が行われている。

建物は普通の住宅のような作りであるが、前面に出てくる階段とそこに置いた植栽を上手くデザインすることで、格好良さと柔らかさを同時に手に入れている物件。

大田クリエイティブタウン研究会
http://www.comp.tmu.ac.jp/ssm/mono/top.html

工場町家 No. 06

丘の上の工場町家

緑の大きな工場屋上を新たな地面として住宅を配置した工場町家

丘の上の住宅
広大な屋上で、別世界に存在しているような住宅である。周囲には樹木も配置され庭もつくられているようである。

階段
階高の違う左右の棟のそれぞれにアクセス出来るよう、複雑な形態をとっている。階段も緑で統一されている。

緑の外壁
工場部の外壁が、全て緑に塗り上げられていることで、住宅は丘の上に悠然と佇んでいるように見える。

大きな工場の屋上を住宅の敷地としている物件。地上に配置するよりも、広い庭のようなスペースや良好な眺望などを手に入れている。

工場町家 No. 07

増殖合体工場町家

もともとは一棟であったが、隣接の建物を取り込み拡大していった工場町家

結合部
元々は違う建物であった２棟を結合させたと思われる部分。２棟の建物の形態の差が側面で現れてきている。

本体
増殖の核となっているであろう部分。本体は工場町家としてつくられており、増殖部は工場面積の増大の為とみられる。

階段
増殖、結合の結果、下がって上がる部分や勾配の違い等が生じている。しかし、３棟をまとめるアクセントともなっている。

使われなくなった隣接する建物を買い取って勢力拡大をさせていったと考えられる物件。今後もまだ拡大するのか楽しみでもある。

工場町家 No. 08

笑う工場町家

開口部の構成によってファサードが人の顔のように見える工場町家

人の顔のように見える建物は町中でいくつか見つけられるが、こんなに口を大きく開けてニヒルな笑みをたたえている物件は工場町家でしかありえないだろう。

目
２階の窓が左右対称に配置されていて目のように見える。ベランダは道路面にではなく、写真右脇に配置されている。

口
１階の接道面全てを開口としている大胆な工場町家。サッシのラインが、歯を見せて笑っているように見える。

工場町家 No. 09

レトロ工場町家

典型的な町家の奥でひっそりと操業しているような工場町家

手入れ
古い物件であると思われるが、外装や塀の塗り直しなど、手入れが丁寧に施されている。

工場部
駐車スペースの奥に、奥ゆかしく存在する工場部分。磨りガラスからもれる光が昭和のような錯覚を起こさせる。

昔からの変わらぬ工場町家での生活が想起しやすい物件。丁寧に手入れされており、住民の建物への愛が感じられる。

工場町家 No. 10

長屋型工場町家

長屋のように何軒かが連なって一棟を形成している工場町家

アパートへの階段
２階のアパートへは、外階段・外廊下のアプローチではなく、工場の開口に挟まれ、個別の入口として配置されている。

屋根の上の小物
室外機や小さな観葉植物などを工場の屋根部分に置いている。本来なら使えない場所も有効活用している。

工場の開口
工場部の開口は、それぞれの工場の用途などに合わせて工場ごとに違ったものになっている。

１階に４軒の工場、２階に４軒の住宅が配置されている。ちょっとずつ違った個性が光り、工場アパートの先駆けとも言える物件である。

工場町家 No. 11

凸凹工場町家

建物に絡み付くように部屋やベランダが付随している工場町家

凸
出っ張っている部分は、小さな事務所、洗濯物干場や子供の遊び場として使われるベランダとなっている。

凹
凸部の下は、小さな屋根があるような空間になっており、車両や廃材、植栽等の置き場所となっている。

ベランダや事務所など小さな空間が、ちょっとずつ高さや位置をずらしながら連なっている物件。その段々状の空間から生活が垣間見えている。

大田クリエイティブタウン研究会
http://www.comp.tmu.ac.jp/ssm/mono/top.html